oasis⑧

おあしす

下川沿中学校

大館市立下川沿中学校
〒017-0878
川口字隼人岱108の69
☎42-9761
校　長　滝沢勝秋
生徒数　118人
創　立　昭和22年

読者のみなさんこんにちは。下川沿中学校三年A組学級委員長の工藤大輔です。今回この号を担当させていただきます。

さて、このコーナーを作成するにあたって、下中のいい所を考えるため、学級会を開きました。最初はなかなか意見が出ませんでしたが、しばらくするとチラホラと意見が出始めました。

一番最初に出た意見は「学校がきれい」でした。これは校内の清掃をきちんとやっているということと、これまで先輩たちが学校を大切に使ってきたからだと思います。

次に「自然に恵まれている」「山でスキーができる」という意見が出ました。下中は学校の隣りに新道山という山があり、スキー場になっています。この山を利用して、スキー授業を行っているのです（このスキー場整備のため、毎年PTAの人たちが秋に下刈りをしてくれます。もちろん僕たち三年生も手伝いました）。また、学校から歩いて十分ほどのところに「高山」と呼ばれる山があり、その広場では毎年十月になべっこ遠足が行われています。

スキー場の下刈り作業

「学校までの通学距離が近い」や「意外と交通手段が多い」という意見も出ました。下中生は、ほとんどの人が徒歩、自転車、バス、電車で通学しています。このため、親の車で送ってもらう生徒が少ないように思います。ちなみに学校の正面にある下川沿駅の前には、小林多喜二の石碑が建っています。『蟹工船』の作品で有名な多喜二は、この川口の生まれなのです。

また、この川口には歴史の長い郷土芸能として、「川口獅子踊り」があります。この獅子踊りは学校の正課クラブにもなっていて、地域の保存会の人たちから習っています。この獅子踊りは活動が盛んで、アメッコ市や文化会館などで踊りを披露しています。

獅子踊りクラブ（学校祭）

このほか、生徒会の人たちのがんばりも見られます。手作りゴミ箱の設置や校旗の掲揚などの活動です。今年二年目となるゴミ箱作りは、生徒からデザインを募集して、下川沿駅前のバス停に設置しました。また、毎日行われる校旗の掲揚は、他校では行っていないらしいので、ぜひこれからも続けていきたいと思います。

下中は部活動でも活躍しています。昭和四十六年のバレー部日本一に始まり、平成七年の野球部春季全県優勝、そして今年は、陸上の佐藤絵利子さんが国体出場、水泳で櫻庭慎平君が東北大会出場とがんばりました。二人にはこれからも活躍を期待したいところです。

ゴミ箱を作った執行部員

話は変わりますが、去る十月十八日に学校祭が行われました。このときの前、後夜祭には数組のバンドが参加しました。バンドというとあまりいいイメージを持たれないようですが、学校祭の仕事とバンドの練習をしっかり両立させていて、音楽科の富樫先生のアドバイスをもらいながら当日は大いに盛り上がりました。

最近は美術室の天井が雨もりしたり、あいさつの声が低くなってきたと言われたりします。もう一度下中のいい所を見直して、これからも「下中ってすごいね」と言われるように下中生百十八名全員で努力していきたいと思います。

前略　下中生になりました

今回は、十一月二十一日に転校してきた、川口の佐藤大地君です。

Q. どちらから来ましたか？

秋田北中からです。住んでいたのは秋田市飯島でした。

Q. 下中生の印象は？

明るくて、人なつっこくて、びっくりしました。

Q. 大館のどこかを見ましたか？

市内をちょこっと…。スポーツ店を探したり、温泉に行ったりしました。あとゲームセンターを全部見て回りました。

Q. 下中ではゲームセンターに行けないことになってますよ？

前の学校でもそうでした…。

Q. 下中でがんばりたいことはどんなことですか？

早く学校に慣れるということですが、もう慣れましたし…、あと早くみんなの名前を覚えることでしょうか。（11/27にインタビュー）

〈学級担任から〉大地君が転校してきた日の学活では、一人ひとりの紹介のほか、町内の地図を書いて説明したり、先生方の特徴を発表したりしていました。また休み時間には、男子全員が彼を連れ立って校内巡り。大地君を一日で「下中生」にしてしまう雰囲気には、びっくりさせられました。

次回（2月16日号）は釈迦内小学校が登場します。

「おあしす」は、内容、デザインなど、すべて学校側で作成し、学校の紹介、自慢などをしてもらうコーナーです。